

企業・団体名	主な取組内容等（広島県を含む全国展開の内容を含む）
<p>コカ・コーラシステム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○容器の2030年ビジョン <ul style="list-style-type: none"> ◆設計 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ボトルtoボトル」を推進し、2022年までにリサイクルPET樹脂の使用率50%以上、2030年にはその比率を90%までに高め、新たな石油由来の原料を使用しない容器の完全導入。 2. 2025年までに、日本国内で販売するすべての製品の容器をリサイクル可能な素材への変更。同年までにすべての製品のPETボトルにサステナブル素材（リサイクルPET樹脂または植物由来PET樹脂）を使用。 3. 2030年までにすべてのPETボトルを100%サステナブル素材に切り替え、新たな石油由来の原料の使用ゼロの実現。 4. 2030年までに、製品1本あたりのPET樹脂の使用量を35%削減（2004年比） ◆回収 <ol style="list-style-type: none"> 1. 2030年までに、日本国内で販売した自社製品と同等量のPETボトルを回収することを目指します。 ◆パートナー <ol style="list-style-type: none"> 1. 政府や自治体、飲料業界、地域社会との協働を通して、より着実な容器回収・リサイクルスキームの構築と、その維持に取り組みます。 ○100%リサイクルPETボトルの一部商品への導入 ○「ボトルtoボトル」の推進。（2020年実績 28%） ○全てのリサイクル可能な製品パッケージに共通の「リサイクルしてね」ロゴを導入 ○日本財団との「陸域から河川への廃棄物流出メカニズムの共同調査」の実施